

提供日 2022/03/24
タイトル 「森は海の恋人」水の循環研究会の委員長が知事を表敬訪問し、研究結果を報告します
担当 暮らし・環境部 環境局環境政策課
連絡先 企画班 秋野、山本
TEL 054-221-3597



～森・川・海における栄養物質等のつながりを科学的に検証～
「森は海の恋人」水の循環研究会の鈴木委員長が知事を訪問し、研究結果を報告します

令和元年度に県が設置した「森は海の恋人」水の循環研究会では、海の生態系を育む栄養物質の供給源である陸や海的环境変化（土地利用や海流等）が海の生物生産に与える影響の検証に取り組んできました。

この度、同研究会の鈴木伸洋委員長が知事を訪問し、研究結果等について報告します。

1 表敬訪問概要

- (1) 日時 令和4年3月30日（水）10時30分～10時50分
- (2) 場所 県庁東館5階 知事室
- (3) 来訪者 「森は海の恋人」水の循環研究会 鈴木伸洋 委員長
（(国研)水産研究・教育機構フェロー、元東海大学海洋学部教授）
- (4) 内容 報告書手交、懇談（研究結果、研究成果の今後の活用等）

2 「森は海の恋人」水の循環研究会の概要

- (1) 研究目的 南アルプスを源流とする富士川・大井川水系と駿河湾沿岸部までをケーススタディとして、陸や海的环境変化が海の生態系に与える影響を科学的に検証し、駿河湾の生態系の保全とその豊かな恵みの持続的利用に向けた実践活動につなげる。
- (2) 構成員 委員 鈴木委員長ほか海洋・森林等の研究者 10名
顧問 山梨県立富士山世界遺産センター所長 秋道智彌氏
アドバイザー 静岡県対外関係補佐官 東郷和彦氏
- (3) 研究期間 令和元年7月～令和4年3月
- (4) 研究内容
 - ・陸や海的环境変化（土地利用や海流等）が海の植物プランクトン生産に与える影響を推定できるシミュレーションモデルの構築・精度向上
 - ・シミュレーションモデルを用いた検証
…森林、生活排水等、各栄養物質供給源の寄与度等
 - ・研究成果活用の方向性の検討

※同日11時より、研究結果や成果活用の方向性等について、県政記者クラブにて、鈴木委員長と静岡県暮らし・環境部が記者レクを行う予定です。